

小山ゆう『チェンジ』にみられる裏返し構造

—漫画作品における異郷訪問譚の事例—

Contrast structure in “Change” of Yu Koyama

—First case in *manga* as *Ikyou-houmon-tan*—大喜多 紀明¹¹滋賀民俗学会Noriaki Ohgita¹¹Folklore Society of Shiga

キーワード：小山ゆう，チェンジ，漫画，裏返し構造，異郷訪問譚

Key words : Yu Koyama, Change, *Manga*, Contrast structure, *Ikyou-houmon-tan*

抄録

本稿において、漫画『チェンジ』（小山ゆう作品）の構造を、裏返し構造の特徴に基づいて分析したところ、当該作品が裏返し構造であることがわかった。従来、裏返し構造は、異郷訪問譚にみとめられてきた構造上の特徴であるとされ、異郷訪問譚形式の、口承由来を含む文字による物語やアニメーション作品にみいだされてきた。漫画作品にみいだされる裏返し構造を紹介したのは本稿が最初である。

1. はじめに

異郷訪問譚とは、主人公が、主人公にとっての日常から異郷へと訪問する形式を持つ物語形式のことである⁽¹⁾。「イザナギの黄泉国訪問」物語や、「浦島子」に代表されるように、異郷訪問譚形式は、物語は頻繁に見いだされる。

以下、異郷訪問譚形式を持つ漫画作品を示す。例えば、松本零士の『銀河鉄道 999』は、1977 年以降に「週刊少年キング」誌に連載された作品である⁽²⁾。この作品では、主人公である星野鉄郎が宇宙という異郷を訪問する様子が描かれている。したがって、当該漫画は異郷訪問譚である。また、インターネット上の漫画配信サイト「コミックシーモア」では、「異世界・転生」作品のコーナーがあり、そこには、855 の作品（2019 年 12 月 19 日閲覧時点）が収納されている⁽³⁾。こうした、「異世界・転生」作品は、一般的には主人公が主人公にとっての「異世界」に「転生」する形式であり、この「異世界」は主人公にとっての異郷でもあるといえる。また、「転生」とは、かかる「異世界」への訪問を意味する。つまり、「異世界・転生」とは、換言すれば「異郷・訪問」であるので、「異世

界・転生」形式は異郷訪問譚形式であるといえる。かかる「異世界・転生」作品には類似作品が多く、現在も新しい作品が生産され続けている⁽⁴⁾。このように、異郷訪問譚の形式は、漫画作品においても頻繁にみとめられる形式である。

本稿で扱う小山による『チェンジ』（英語表記では「Change」）は、1987 年～1988 年に『週刊少年マガジン』で発表された作品である。主人公は、「早⁽⁵⁾」という名前の少女である。本稿では、『チェンジ』の構造を、裏返し構造を当てはめる観点から分析することにする。

大林は日本の典型的な異郷訪問譚であるいくつかの物語に裏返し構造がみだせることを示し、かかる構造が異郷訪問譚における構造上の「共通の約束」であるという推認を述べた⁽⁶⁾。また、大林の推認を受けた依田は、韓国のいくつかの異郷訪問譚形式の物語においても裏返し構造がみだせることを示した⁽⁷⁾。筆者は、かかる裏返し構造が、漫画及びアニメーション作品の分析にも援用できるものと考え、宮崎駿のアニメーション作品である『千と千尋の神隠し』⁽⁸⁾、『崖の上のポニョ』⁽⁹⁾などの分析をおこない、かかる作品が裏返し構

造であることを確認した。ただし、漫画作品の分析に裏返し構造を援用した事例はない。つまり、本稿は、漫画作品を裏返し構造の観点から分析した最初の報告である。

2. テキスト

『チェンジ』の著者である小山は、著名なボクシング漫画の一つ⁽¹⁰⁾である『がんばれ元気』の著者である。『チェンジ』は、『少年マガジン』誌に掲載された後、単行本『チェンジ』第1巻～第3巻⁽¹¹⁾として出版された。1節で述べたように、近年は、「異世界・転生」作品が量産されている。しかし、『チェンジ』が発刊された当時は、異郷訪問譚形式による漫画作品は、現在よりはるかに少なかった⁽⁴⁾。また、筆者の管見⁽¹²⁾によれば、『チェンジ』以前も、かかる構造の漫画作品は決して多いとはいえない。以上は、『チェンジ』が、一連の異郷訪問譚形式の漫画における萌芽期の作品の一つである可能性を示唆している⁽¹³⁾。そこで筆者は、異郷訪問譚形式の漫画の一般的な構造を理解するうえで『チェンジ』の構造を分析することが有用であるという仮説を設定し、当該作品を本稿におけるテキストとした。

以下、単行本版に基づいた筆者によるあらすじを示す。なお、アルファベットおよび記号は、筆者が便宜的に付したものである。

—あらすじ

[A] 小学生である早は、病気の療養のために田舎にある医療センターに入院する。早は足が不自由であり、車椅子を使用している。そこに二人の死神が現れる。その内の一人は新人の死神⁽¹⁴⁾であり、もう一人は先輩の死神である。新人は、死ぬ人物が子どもであることを知って同情し、早の記憶を覗く。新人は、早の人生が家族からも見捨てられた孤独なものであることを知り、深く同情することとなる。また、早が空想のなか野球をすることが唯一の楽しみであることを知る。早は、病院の近くで高校生が野球の練習をしていることを知り、これを見学に行く。早は野球部の高校生たちと仲良くなる。ところが翌日、早は交通事故で死んでしまう。[A]

[B] 早の死を悲しんだ新人は、49日間だけ仮の生命と体を与える方法があることを知る。ただしその方法をおこなった場合、その代償として、

それを希望した死神は無間地獄の空洞で49日間苦しみ続け、最後には死ぬという決まりになっている⁽¹⁵⁾。他の死神たちに反対されるも、新人は、自分の苦しみと死を代償に、早を49日間生かす決断をする。早は高校生の新しい体で49日間の仮の生命が与えられる。[B]

[C] 早は記憶を失っていたのだが、かつて見学した高校の野球部にキャッチャーとして入部する。しかし、自分が誰であるか、家がどこにあるかを忘れていたため、野球部のピッチャーである下田の家に下宿することになる。早の体は高校生であるのだが、心は小学生のままであり、自身を「女性」として自覚していない。早は天真爛漫であり、野球部のメンバーに甲子園に行こうと呼びかけるのだが、この野球部は一度も勝ったことがなく、やる気がまったくなかった。しかし、早の呼びかけと行動により、次第にメンバーの心が動きはじめ、練習を開始することになる。甲子園大会の予選が始まり、初戦を何とか勝利する。[C]

[D] その後、早は次第に過去の記憶を取り戻し始める。新人は下田に早の秘密を打ち明け、あと10日の生命であること知らせる。2日後、早は新人に会うために、死者の霊が49日間だけ留まる世界⁽¹⁶⁾へと行く。そこで、早は自分の秘密を知り、あと8日しか生きることができないことを知るとともに、残りの仮の生命を精いっぱい生きる決意をする。[D]

[E] 早はそれまでは天真爛漫だったが、急に大人びる。また、早と下田は恋愛関係になる。下田は、早の秘密を自分だけに納めることができず、野球部の全員に告げる。野球部のメンバーは早の夢をかなえるため、予選大会の優勝を誓う。最後の日、メンバーは一つになって、奇跡的に予選大会を優勝する。試合後、ロッカールームで早は消えてしまう。[E]

[F] 新人は幽界から天界⁽¹⁷⁾に引き上げられ、新たに1000年の寿命と安らぎが神から与えられる。また、新人は神に、早が地上で幸せに生きることを希望し、その願いが叶えられる。ただし、新人の早に対する記憶と、早の今までの記憶がなくなることが条件とされる。新人はこれを承諾する。[F]

[G] 地上では、野球部のメンバーの、早についての記憶がなくなっていた。神は、早の記憶を操作し、当該地域で娘を亡くした心優しい両親の

娘となっていた。下田が自転車で登校していると、高校生の姿の早が急に横から自転車で現れる。早が下田の高校に転校してきたのである。早と下田は初対面であったはずであるが、互いに会ったことがあるような気がしていた。〔G〕

本稿では、以上のあらすじをテキストとし、構造分析をおこなうこととする。

早は、幼い頃から足が不自由な小学生の女の子であった。早はいったんは交通事故で死ぬのであるが、新人が早に同情し、再び49日間の生命が、新人の生命と引き換えに与えられる。その際、早は、足が不自由ではない高校生の姿で現れる。いったん死んだ早にとり、49日間に限定された地上での生活は、早による、幽界から現世への訪問であると言えるので、当該作品は異郷訪問譚形式である。つまり、早にとっての異郷は現世であるといえる。

3. 裏返し構造

裏返し構造とは、以下の特徴Aと特徴Bの双方の特徴をもつ構造のことをいう⁽¹⁸⁾。

特徴A：物語の「前半」部分に配置された要素に対して、物語の「後半」に相当する要素が、「前半」の「否定」・「対立」もしくは「対照」としての関連性を持って出現する。

特徴B：物語の「後半」に配置された要素は、「前半」の対応する要素の配列順序とは逆の順番で出現する。

ルーマニアのフォークロリストであるミハイ・ポップは、ルーマニアの昔話「兵士としての少女」に最初に裏返し構造をみいだした⁽¹⁹⁾。かかるポップの知見を踏まえ、大林は、異郷訪問譚と裏返し構造との関連に言及した。そのうえで、裏返し構造は、異郷訪問譚における構造上の「共通の特徴」⁽²⁰⁾であるとの見解を大林は述べた。換言すれば、このことは、異郷訪問譚形式の作品を理解するうえでは、裏返し構造に基づく分析が有用であることを示唆している。

なお、裏返し構造自体は、プロップ⁽²¹⁾やレヴィ＝ストロース⁽²²⁾らにより示された一連の物語分析の一種であるのだが、大林は、裏返し構造に基づ

く構造分析の特徴を次のように述べている⁽²³⁾。

早く言えば、ポップの方法は、構造分析における syntagmatic な見方と、 paradigmatic な見方の双方を統合する試みと言えよう。

つまり、裏返し構造に基づく構造分析は、統辞的・範列的双方の視点を統合する立場による分析手法である。

4. 構造分析

一連の先行研究⁽²⁴⁾では、作品が裏返し構造によるか否かを判別する際、テキストそのものあるいはあらすじをいくつかの断章に区分し、そのうえで、かかる区分に基づく図式を作成したうえで、特徴Aおよび特徴Bと照合することによりおこなう分析手続きが採用された。本稿による判別も、かかる先行研究と同様の分析手続きによっておこなうこととする。

まず、2節で示したテキストのアルファベットおよび記号による区分を、本稿による断章の区分とする。そのうえで、以下に、かかる区分に基づいて作成した図式を示し、かかる図式に関する説明をおこなう。さらに、特徴Aおよび特徴Bにあてはまるかの確認をおこない、かかる図式が裏返し構造に基づくか否かの検討をおこなう。

以下は図式である。

A. 態様	⇔	G. 態様
小学生		高校生
孤独		孤独ではない
不自由		不自由ではない
不遇な死		不遇な死の回避
↓		↑
B. 生命	⇔	F. 生命
仮の生命		仮の生命の回避
↓		↑
C. 発達	⇔	E. 発達
天真爛漫		思春期
不相応		相応
↓		↑
		D. 認知
		秘密を知る

以下、上記の図式についての説明をする。Aと

Gは、早の「熊様」をテーマとしている。だが、Aでの早は、小学生であり、孤独であり、足が不自由であり、最終的には不遇な死を遂げる。それに対し、Gでの早は、高校生であり、孤独が除去されており、自転車に乗れるように足が不自由ではなく、小学生の時の不遇な死が回避されており、これらの点はすべて対照的である。

BとFは双方とも「生命」をテーマとしている。Bでは、早は49日間という短命が運命づけられており、これは仮の生命である。同時に、新人も49日間に限定された生命である。対し、Fでは、早は49日という限定された仮の生命が解除されている。また、新人には1000年の生命が神により与えられた。かかる点はともに対照的である。

CとEは早の「発達」がテーマである。Cでは、早の肉体は高校生であるのだが、心は天真爛漫で小学生のままであり、体に対して心の発達が不相応な状態にある。それに対し、Eでは、早の心は成長し、下田に対する恋愛感情を持つようになる。これは思春期をむかえた高校生に相応しいものである。つまり、早の体に対して心が相応の状態にある。以上のように、CとEは対照的である。

Dは独立した要素であり、「認知」をテーマとしている。早は本来自分が死んだ存在であること、自身の生命が限られたものであり、かつ、それが新人の犠牲のうえに成り立っていることを知る。かかる自身に関わる秘密を知ることきっかけに、早の心は急速に成長する。つまり、この箇所がきっかけとなり、物語は転回⁽²⁵⁾することになる。

以上を、特徴Aおよび特徴Bと照合する。まず、AとG、BとF、CとEは対応しており、その関係は対照的である。この点は特徴Aと一致している。また、前半要素の配列順序はA→B→Cである。それに対し、後半要素の配列順序はE→F→Gである。つまり、前半要素の配列順序と後半要素の配列順序は逆転している。この点は、特徴Bと一致している。以上より、図式は特徴Aと特徴Bの双方に合致するので、テキストは裏返し構造である。なお、Dは前半要素から後半要素へと移行する転回点である。

5. おわりに

本稿では、小山を作者とする『チェンジ』のあらすじを作成したうえでこれをテキストとし、かかるテキストの構造の図式を示した。さらに、か

かる図式を裏返し構造の特徴Aおよび特徴Bと照合することにより、テキストが裏返し構造といえるか否かの検討をおこなった。その結果、当該テキストの図式は特徴Aおよび特徴Bと一致していた。このことは、テキストが裏返し構造であることを示している。

以上は、異郷訪問譚の形式の漫画テキストにおいても、文字による作品やアニメーション作品の場合と同様、裏返し構造を持つ事例があることを示している。ただし、本稿では『チェンジ』の構造分析をしたに過ぎず、こうした特徴が他の漫画においても一般的なのかどうかは今後確認するつもりである。

注

- (1)本稿ではこれを、本稿における異郷訪問譚の定義とする。
- (2)『銀河鉄道999』（アンドロメダ編）は、少年画報社発行の「週刊少年キング」誌5・6合併号（1977年）～48号（1981年）に連載された。
- (3)エヌ・ティ・ティ・ソルマーレ株式会社。“異世界・転生の作品一覧”。コミックシーモア。
<https://www.cmoa.jp/genre/663/>（2019年12月19日閲覧）。
- (4)例えば、加藤勇介。“夢見る「異世界転生」モテモテ設定 生きづらさの象徴？”。朝日新聞デジタル。
<https://www.asahi.com/articles/ASM6X66G3M6XUCVL01T.html>（2020年1月7日閲覧）には、「「異世界転生」をテーマにした漫画、アニメ、ライトノベルが、大手出版社の屋台骨を支えるまでの大流行となっている。出版物は5年で50倍に」と書かれている。
- (5)「早」は「さき」と読む。
- (6)大林太良。異郷訪問譚の構造。口承文芸研究。1979, (2), p. 1-9.
- (7)依田千百子。韓国の異郷訪問譚の構造。口承文芸研究。1982, (5), p. 47-57.
- (8)大喜多紀明。アニメーション映画『千と千尋の神隠し』にみられる二重の異郷訪問譚構造について：ミハイ・ポップの「裏返し」モデルを適用した場合。国語論集。2014, (11), p. 77-89.
- (9)大喜多紀明。長編アニメーション映画『崖の上のポニョ』の構造分析：2編の小さな異郷訪問譚の接合。人間生活文化研究。2017, (27), p. 1-13.
- (10)小学館漫画賞事務局。現代漫画博物館。小学館。2006, p. 187.

- (11)本稿ではこれらを「単行本版」と呼ぶ。
(12)異郷訪問譚形式による漫画作品の史的変遷の詳細については別の機会に紹介するつもりである。
(13)松本の『銀河鉄道 999』も、『チェンジ』と同様に、異郷訪問譚形式の漫画における萌芽的作品であるといえる。ただし、本稿では『銀河鉄道 999』の分析はおこなわず、別の機会におこなうことにする。また、『チェンジ』が後の一連の異郷訪問譚形式の漫画作品群にどのような影響を及ぼしたか、については、今後考察するつもりである。
(14)以下、本稿では、当該新人の死神のことを「新人」と呼ぶ。
(15)当該作品では、死神にも寿命があるという設定である。
(16)本稿では便宜上これを「幽界」と呼ぶ。
(17)当該作品では、幽界を経由した後に死者が住む世界を「天界」と呼んでいるので、本稿でも「天界」とした。
- (18)大林論文。
(19)大林論文に依拠すれば、ポップの構造の初出は『Folclor Literar』（1967年出版）に収録されたポップによる「Metode noi in cercetarea structurii basmelor」である。筆者はこの論文を入手できなかったため、その代わりとして、当該箇所が再掲された Pop, Mihai. “Coordonate structurale ale folclorului literar”. Folclor literar românesc. 1990, p. 77-92.を参照した。
(20)大林論文。
(21)例えば、ウラジミール・プロップ。北岡誠司ほか(訳)。昔話の形態学。水声社、1987。
(22)例えば、クロード・レヴィ＝ストロース。田島節夫(訳)。神話の構造。みすず書房、1972。
(23)大林論文。
(24)例えば、大林論文・依田論文・大喜多(2017)。
(25)裏返し構造において、物語の前半から後半へと移行することを、本稿では「転回」と呼ぶ。

(受付日：2020年1月7日，受理日：2020年2月21日)

大喜多 紀明（おおぎた のりあき）

東京工業大学大学院総合理工学研究科電子化学専攻修士課程修了（理学修士）。

専門は民俗学，文化人類学。

主な論文：聖書「創世記」冒頭の5つの物語の構造：異郷訪問譚によらない裏返し構造の事例。北海道言語文化研究。2017, (15), p. 195-216.

赤井温泉の話：横浜市金沢区釜利谷東。あしな。2019, (314), p. 8-11.